

北海道新型コロナウイルス感染症対策本部 第78回本部会議 記録

日 時／令和3年9月22日（水）

15：30～15：47

場 所／本庁舎3階 テレビ会議室

【副本部長（小玉副知事）】

これより、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部の第78回本部会議を開催します。
まず、道内の感染状況等について、新型コロナウイルス感染症対策監から説明願います。

【原田新型コロナウイルス感染症対策監】

資料1をご覧ください。道の警戒ステージの指標についてでございますけれども、前の週との比較で見ますと、昨日時点で全ての指標で前の週より改善しているという状況です。病床使用率ですが、ステージ3の目安を上回っているという状況になります。続いて、特定措置区域別に見ますと、札幌市における指標ですが、概ね前の週より改善しておりますが、新規感染者数、病床使用率、入院率、療養者数の4つで、ステージ3の目安を上回っているという状況です。また、札幌市以外の特定措置区域におきましても、概ね前の週より改善しておりますけれども、例えば、旭川市におけます病床使用率、療養者数は、ステージ3の目安を上回っているという状況でございます。

続いて、スライド3をお願いします。先般、開催いたしました有識者会議におきまして、圏域毎の指標の状況などを示し、地域の状況を可視化するべきと委員からご指摘いただいております。そうしたものを踏まえまして、先ほどの特定措置区域以外の圏域も含めまして、6つの3次医療圏ごとの指標の状況を整理したものでございます。あわせて、振興局別の新規感染者数の状況もお示ししているものでございますので、のちほどご確認いただければと思います。

続いて、総評です。全道の新規感染者数ですが、減少傾向が続いております。10万人あたり10.1人となりました。札幌市を含む特定措置区域の新規感染者数についても減少傾向が見られますが、事業所や学校での集団感染の確認が続いている。主要な地点におけます人流は、3連休に増加しており、緊急事態宣言前の水準を超える地域も見られるという状況です。

医療提供体制です。全道の療養者数及び入院患者数は減少傾向にありますが、札幌市など一部の地域におきまして療養者数は高い水準にある。重症者については、療養者の症状の悪化などによる増加に注意が必要な状況です。

ワクチン接種です。道内の全人口に対する接種率ですが、9月20日現在、1回目56.8%、2回目45.6%となっています。これまでに道民の半数以上の方が、1回目の接種を終えているという状況です。

続いて、今後の対策です。新規感染者数及び療養者数は減少しておりますが、人流が増加しており、今後、3連休の影響について、慎重にモニタリングしていく必要があります。緊急事態宣言の下、新規感染者数及び医療提供体制の負荷のもう一段の減少に向けて取り組んでまいります。

医療提供体制の強化に向け、新たな臨時医療施設の設置に向けた調整を加速します。また、引き続き、自宅で療養する方に対して、保健所による健康観察の徹底や必要に応じた在宅医療の提供、症状悪化時の迅速な対応など、万全の支援を行ってまいります。

行動制限の緩和に向けた国の検討状況を注視しながら、道としても、飲食店の第三者認証制度を開始いたします。また、国が行う飲食店やライブハウスでの技術実証の取組と連携してまいります。

若年層へのワクチン接種に向けて正しい知識等の普及啓発に取り組むほか、道のワクチン接種センターにおけます2回目接種及び追加接種の実施や職域接種・大学拠点接種への支援など、今後とも市町村や関係機関とともに、希望する方が一日も早くワクチン接種できる環境づくりに取り組んでまいります。

次に、スライド5以降について、何点か補足としてご説明いたしますと、スライド13ですが、年代別の感染者数について、20代から30代の割合は43.5%、また、10代の割合ですけれども、14.8%となっておりますけれども、傾向としては変わっていないという状況です。

最後のスライドです。ワクチンの接種状況ですけれども、北海道ワクチン接種センターですが、今週から2回目の接種を開始しておりまして、並行して、これまでの余剰ワクチンを活用し、1,200人の追加接種を実施しております。追加接種に係ります予約率ですけれども、本日9時現在で88.6%となっている状況です。

次に、アストラゼネカ社製ワクチンですけれども、9月11日から順次接種を開始しております。昨日まで既に291人の方が1回目接種を終えている。本日も手稲溪仁会病院で計90名の方に1回目の接種を行う予定としております。

その他のスライドでございますが、本日の説明に関しますデータを載せておりますので、のちほどご覧いただければと思います。

引き続き、資料2をご覧いただければと思います。先ほどの資料1につきまして、専門家及び有識者のご意見を伺うとともに、市町村や関係団体にも事前にお知らせしているところでございます。

有識者、専門家の皆様からは、概ね妥当であるというご意見をいただいておりますけれども、その主なものについてご紹介いたしますと、(1-①) 再度の感染の波を小さくするためにも、また、この連休の影響を見るためにも引き続き、モニタリングなどの取組は必要、(1-②) 感染状況が落ち着いており、全国一斉に措置解除などの報道もされておりますが、解除後の行動についても、マスクの着用など感染対策を促す必要があるといった意見をいただいております。

また、市町村、関係団体からですけれども、(2-①) 3連休の人流増加が緊急事態宣言前の水準を超える地域もあることから、感染のもう一段の減少に向けて対策を徹底してほしいなどといったご意見が寄せられております。こうしたご意見につきましては、今後の取組の参考としてまいります。

私からの説明は以上です。

【副本部長（小玉副知事）】

次に、札幌市の感染状況について、オブザーバー出席いただいております山口感染症担当部長から説明をお願いします。

【山口札幌市感染症担当部長】

資料3に基づきまして、札幌市の感染状況についてご説明をいたします。それでは最初のスライドをご覧ください。新規感染者数の1週間の合計につきましては、昨日9月21日の時点で342人、そのうちリンクなしの人数は138人で、その割合は40.4%となっております。人口10万人当たりで見ますと、17.4人と全国のステージⅣの指標であります25人を下回り、着実に減少しているところでございますが、感染が再拡大に転じないよう、新規感

染者数をより一層減少させることが必要と考えております。

それでは次のスライドをご覧ください。札幌市内の入院患者数の状況でございます。昨日時点の入院患者数につきましては123人、それから重症の患者数、これは赤い折れ線グラフでございますけれども、7人となっております。入院患者数、重症患者数ともに減少傾向にありますが、医療の負荷を抑え込むためにも、より一層の減少が必要と考えてございます。

それでは、最後のスライドをご覧ください。これは市内の検査数でございますけれども、直近1週間の検査数でございますが、10,152件でありまして、また、この陽性率は昨日時点で3.4%と、札幌市が目標としている陽性率の5%を下回っている状況でございます。

新規感染者数や入院患者数は減少傾向にありますが、ここで決して気を緩めることなく、徹底した感染対策を継続することが必要と考えております。また、明日からシルバーウィークの後半となり、人の動きが活発になることが予想されることから、不要不急の外出や、特に都道府県をまたぐような外出については控えていただくことが必要であるというふうに考えております。

以上でございます。

【副本部長（小玉副知事）】

次に、各部・振興局から、順次、発言をお願いします。

まず、空知総合振興局長からお願いします。

【白石空知総合振興局長】

資料は4です。初めに資料にはありませんが、空知管内の感染状況でございますけれども、8月に入りまして急速に感染者数が増加して、8月11日には新規感染者数が17人まで増加しましたが、その後は減少傾向にございます。

それでは資料に基づきまして、取組について説明をさせていただきます。住民向けの取組といたしましては、これまで継続的に市や町との共同メッセージの発出を行っておりますほか、広報車で巡回放送を岩見沢市内で週3回実施するなど、住民の皆様に対し、不要不急の外出自粛や感染防止対策の徹底、黙食の実践などについてお願いしてきていただいております。この他、岩見沢市では市街地中心部の街頭放送によりまして、連日呼びかけを行っているような状況にございます。

また、8月27日に緊急事態措置が始まったことを受けまして、事業者向けの取組といたしまして、岩見沢市内において、市と連携をいたしまして、飲食店への時短営業などについて、対象となる約400店に対し、協力を要請したところでございます。

さらに、若者や子供の感染事例が増加していることを踏まえまして、学校等における取組ですが、各保育所への保護者向けの啓発チラシの配布や小中学校、高校での啓発チラシの配布・ポスターの掲示を実施しているほか、管内各大学の協力によりまして、啓発ポスターを学内に提示するなど、感染防止対策に万全を期していただくようお願いしてきたところでございます。

最後に振興局内の取組といたしまして、感染者の増加に伴いまして、保健所の業務がひっ迫したことを受けまして、局内各課から保健所へ応援職員を送り、感染者の健康観察等を支援してきたところでございます。また、さらに職場での感染防止対策の観点から、リモートワークや休暇の取得を奨励するほか、庁舎内の会議室や講堂等のスペースを最大限活用いたしまして、サテライト勤務を実施し、職場での人と人との接触の低減に努めてきたところでございます。

取組は以上でございますが、新規感染者数は減少傾向にございますが、引き続き市町と

連携しながら、気を緩めることなく、対策の徹底に努めてまいる考えでございます。
以上でございます。

【副本部長（小玉副知事）】

次に、胆振総合振興局長、お願いします。

【谷内胆振総合振興局長】

資料5に基づきまして、ご報告させていただきます。初めに管内の感染状況ですけれども、1にありますように、人口10万人当たりの新規感染者数は、1ヶ月前の8月21日時点で32.65人であったのに対しまして、昨日現在では0.78人と大幅に減少している状況にあります。

この間、胆振総合振興局としましては、市や町、関係団体と協力しながら、2に記載しておりますように、住民向けや若者向け、あるいは飲食店向け、事業者向けなど様々な感染防止対策を実施してきております。特に今回の緊急事態措置を受けまして、飲食店に対しましては、資料の中段の写真にもございますように、飲食店が多い室蘭市と苫小牧市におきまして、それぞれの市長にも協力をいただき、共同で巡回訪問を行い、営業時間の短縮の要請を行ったところでもあります。

一方でこうした飲食店への訪問を通じましても、経営上大きな影響を受けているとお話を直接伺っております。こうした声も踏まえまして、今月初めからは振興局独自の対策としまして、資料にチラシを掲載しておりますが、胆振管内の飲食店や生産者を応援するため、テイクアウトやデリバリーを利用した方々が、その料理の写真をインスタグラムに投稿していただき、抽選で管内の特産品をプレゼントするといったキャンペーンにも取り組んでいるところであります。

次に3のワクチン接種に関してであります。胆振管内でも希望する若い方への接種が徐々に進んできている状況にありますが、ワクチン接種に関する正しい理解を高めさせていただくため、振興局の若手職員が、これまでも感染予防対策の普及啓発のために発行している瓦版がございますので、その中でワクチン接種特集を組みまして、大学や専門学校への配布を通じるなどして、若い方々への啓発を行ってきております。

また、胆振管内でも企業などによります職域接種も行われておりますが、今月から始まりました室蘭商工会議所が実施する職域接種に関しましては、胆振総合振興局の会議室をワクチン接種会場として提供しておりまして、振興局としましては、ワクチン接種が円滑に進むよう、できる限りの支援をしております。

胆振総合振興局では、地域の実情や課題を把握するため、これまでも管内の首長の方々との意見交換などを行ってきておりますが、先週には室蘭商工会議所からも直接お話を伺い、様々な業界の状況や必要な対策について、意見交換を実施したところでもあります。今後とも地域の皆様と緊密に連携しながら必要な対策に取り組んでまいります。

胆振からは以上です。

【副本部長（小玉副知事）】

この他、各部、振興局等からご発言ございませんか。なければ、本部長からお話しをお願いします

【本部長（知事）】

昨日の新規感染者数36人、本日については57人となっています。道民の皆様のご理解、ご協力によりまして、道内の新規感染者数については、減少傾向が続いております。しか

しながら、3連休中、主要地点での人流、こちらが増加いたしました。また、明日から再び4連休という方もいるというふうに思うわけですが、ここで警戒感が緩むと再びリバウンドが生じる、そういったおそれがあるというふうに考えています。今一度、9月30日までの間、緊急事態宣言、緊急事態措置の下で、感染防止行動、これを徹底していかなければなりません。専門家の間では、普段会わない人との接触機会が再び増えることで、早期に増加に転じる、そういった可能性が指摘をされています。9月30日までの間に、感染者数をできる限り減少させ、医療提供体制の負荷を低減をさせていく、そのためにも、外出はなるべく避けて、家族で過ごしていただくことについて、あらためて、皆様にご協力をお願いいたします。

また、道民の半数以上の方々が1回目のワクチン接種、これを終えました。接種が進んでいます。ワクチンは、発症予防効果、重症化予防効果が期待されています。ワクチンを接種することで安心する気持ちになる、そういったことになるかもしれませんが、ワクチンを打てば絶対に大丈夫ということではありません。接種をした方についても、引き続き、基本的な感染防止行動、これを取っていただくことが重要となります。各本部員におかれは、市町村、関係団体と連携をして、今お話しをした内容などをあらゆる機会を活用して呼びかけていただきたいと考えています。あらためて、対策の徹底に取り組んでください。

飲食店の第三者認証であります。試行ということで実証を進めてきたところでありますけれども、国の基本的対処方針などを踏まえまして、各本部員においては、速やかにこの第三者認証、開始できるように準備を進めていただきたいと思っております。また、行動制限の緩和に向けた国民的議論、これを進めていくためには、技術実証も重要となります。国や関係市町村、団体と連携を図りながら、課題の整理など先を見据えてしっかりと、この行動制限緩和に向けた、この国民的議論を進めていくための技術実証、これをしっかりと取り組むように指示をいたします。

私からは以上です。

【副本部長（小玉副知事）】

本部長から指示のあったことにつきまして、各本部員は必要な対応をお願いします。

以上をもって、新型コロナウイルス感染症対策本部の第78回本部会議を終了いたします。

(了)